

フルオラス科学研究会第7回シンポジウムプログラム

2014年9月9日(火)
北海道大学 百年記念会館

- 9:30-9:35 会長挨拶
- 座長：三浦 剛 (東京薬科大学 薬学部)
- 9:35-10:25 **特別講演 1**
「フルオラス化合物と光反応」
(岐阜薬科大学) 伊藤 彰近
- 10:25-10:40 **口頭発表**
O-1 「固相-液相間移動型ミディアムフルオラスメタセシス触媒の開発」
(名城大・農) ○小林 佑基、秦 翔吾、犬飼 紗絵、濱本 博三、
塩入 孝之、松儀 真人
- 10:40-10:55 **休憩**
- 座長：石原 一彰 (名古屋大学 大学院工学研究科)
- 10:55-11:10 **口頭発表**
O-2 「炭素-炭素結合型ヘビーフルオラストグを用いた糖鎖合成」
(野口研・糖鎖有機¹、千葉大院・融合科学²) ○福田和男^{1,2}、戸治野真美¹、
後藤浩太郎¹、土肥博史²、西田芳弘²、水野真盛¹
- 11:10-12:00 **特別講演 2**
「gem-ジフルオロシクロプロパン誘導体の合成ならびにジフルオロメチレン合成ブロックへの展開」
(鳥取大学) 伊藤 敏幸
- 12:00-13:30 **昼食・評議員会**

座長：畑中 研一（東京大学 生産技術研究所）

13:30-14:20

特別講演 3

「親フッ素—親油—親水バランス評価法の開発と適用」

(旭硝子) 中島 陽司

14:20-14:35

口頭発表

O-3 「フルオラス分離技術を基盤とする新規分離デバイス Dress-up キラルカラムの開発とカルボン酸分離への応用」

(静岡県立大学 薬学部) ○石井裕大, 轟木堅一郎, 井出貴文, 関俊哲, 井之上浩一, 濱島義隆, 豊岡利正

14:35-14:50

休憩

座長：轟木 堅一郎（静岡県立大学 薬学部）

14:50-15:05

口頭発表

O-4 「フッ素化オリゴエチレングリコールの表面修飾が誘起するナノ粒子のカプセル状自己集合」

(北大電子研¹・北大総化院²) ○新倉謙一¹・魏 金建²・三友 秀之¹・居城邦治¹

15:05-15:55

特別講演 4

「イオン液体中での有機電解合成—フッ素化合物を中心として」

(東京工業大学) 淵上 壽雄

16:00-16:20

研究会総会

16:30-17:30

ポスターセッション

17:30-20:00

情報交換会

ポスター発表 (16:30-17:30)

- P-01 フルオラスデンドリマーの合成と水溶化検討
(東大生研) ○畔柳歩大、粕谷マリアカルメリタ、畑中研一
- P-02 細胞培養を目指した両親媒性フルオラスゲル化剤の開発
(東大生研) ○豊村誠、粕谷マリアカルメリタ、畑中研一
- P-03 二層系培養におけるフッ素溶媒の効果
(東大生研) ○粕谷マリアカルメリタ、畑中研一
- P-04 細胞培養における酸素供給を指向したフルオラスゲル
(東大生研¹、Univ.Bordeaux²) ○宮島浩樹¹、粕谷マリアカルメリタ¹、畑中研一¹、
A. Del Guerzo²、J. M. Vincent²
- P-05 ライトフルオラスサレンマンガン錯体を用いる芳香族オレフィンの不斉エポキシ
化反応：ベンゾトリフルオリドの共溶媒効果によるエナンチオ面選択性の向上
(名城大・農) ○秦 翔吾、小林 佑基、犬飼 紗絵、濱本 博三、塩入 孝之、
松儀 真人
- P-06 フルオラスコーティングしたPDMSグラフトポリイミド膜の分離特性
(¹東海大院工・²東海大工・³東海大創造科学技研) ○小田龍馬¹・高田恭輔²・
岡村陽介³・稲津敏行^{1,2}・長瀬裕^{1,2}
- P-07 ペルフルオロアルキル鎖を利用するキラルヨウ化第四級アンモニウム触媒の設計：
エナンチオ選択的脱水素カップリング反応の開発
(名古屋大学大学院 工学研究科) ○石原一彰、UYANIK Muhammet、鈴木大介、
林裕樹
- P-08 新規フルオラス有機分子触媒を用いた立体的炭素-炭素結合形成反応の開発
(東京薬科大学 薬学部) ○平島真一、坂井崇亮、新井亮雅、中島康介、古石裕治、
三浦剛
- P-09 パーフルオロアルキル基を有するキラルゲル化剤による含フッ素溶媒のゲル化
(お茶女大院¹、愛媛大院理工²、東邦大理³) ○田淵恵里香¹、矢島知子¹、
佐藤久子²、山岸皓彦³

- P-10 Fabrication of Multilayered Gold Nanoparticle Vesicles Using Sugar Terminated Fluorinated Surface Ligand
(^aGraduate School of Chemical Sciences and Engineering, Hokkaido University;
^bResearch Institute for Electronic Science(RIES), Hokkaido University)
○Jinjian Wei,^a Kenichi Niikura,^b Naotoshi Sugimura,^a Hideyuki Mitomo,^b Kuniharu Ijiro^{b*}
- P-11 選択的な捕集と検出を可能とするフルオラスプロテオミクス解析試薬の開発
(静岡県立大学 薬学部) 石井裕大, ○轟木堅一郎, 関俊哲, 井之上浩一, 豊岡利正
- P-12 フルオラスポリマーの合成とぬれ性の測定
(¹東京大学 生産技術研究所、²埼玉大学大学院 理工学研究科)
○木村珠美^{1,2}、粕谷マリアカルメリタ¹、畑中研一¹、松岡浩司²
- P-13 フェイズ・バニシング法による気体の発生と有機合成への利用
(阪府大院理) ○眞武亮介・丹羽勇樹・松原浩
- P-14 フルオラス保護基を用いるアルギニン残基の副反応の抑制
(東海大・工・応化) ○赤司 里奈, 稲津 敏行
- P-15 スルフィド型フルオラス抽出剤の合成
(東海大・工・応化) ○中川洗希、留奥友基、稲津敏行
- P-16 フッ素系樹脂をガス透過膜としたフロー型 ex-situ カルボニル化法
(大阪府立大学大学院 理学系研究科) 福山高英、Celia Brancour、向井 悠、Troels Sklydstrup、○柳 日馨
- P-17 ペンタフルオロスルファニル基を持つフタロシアニンの合成研究
(名古屋工業大学大学院 工学研究科) ○飯田紀士, 徳永恵津子, 柴田哲男
- P-18 効率的なフルオラス固相抽出を指向したフルオラススフィンゴ脂質誘導体の合成及びその有用性評価
(北大院生命科学¹、北大院先端生命²) ○齊藤 翔太¹、吉田 昌史¹、Mostafa A.S. Hammam²、光武 進²、五十嵐 靖之²、村井 勇太²、門出 健次²